



「令和3年度 全国学力・学習状況調査」の結果概要と今後の取組について

5月27日(木)、6学年児童を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要をお伝えします。本校では、調査結果からわかる児童の取組の「成果」「課題」等の傾向をとらえ、具体的な授業改善に取り組んで参ります。つきましては、保護者の皆様には、これまでと同様に家庭生活や生活習慣の見直しに向けてご協力をお願いいたします。

なお、この調査は学力の特定の一部を測るものであり、学力のすべてを反映しているものではないことをご理解ください。

1. 学力・学習状況調査

(1) 学力調査結果

全体として、正答率の低い児童は少なく、学力の向上が見られる。国語では、正答率の低い児童が少なく、正答率が中位から高い児童の割合が多くなっている。また、算数においては、正答率の低い児童はいなくて、正答率が中位からやや高い児童の割合が多くなっている。

	成果と課題 (成果…「◎」 「課題」…「◇」)
国語	◎全体的に無回答率が低い。 ◎文の中における、主語と述語、また修飾語と被修飾語の関係を捉えることができる児童が多い。 ◎目的を意識して、中心となる語や文を見付け、要約することができる児童が多い。 ◇学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うことに課題がある。 ◇スピーチにおいて、目的や意図に応じた資料を使って話すことに課題がある。
算数	◎全体的に無回答率が低い。 ◎速さと道のりを本に、時間を求める式と答えをかける児童が多い。 ◎棒グラフ、帯グラフから、資料の特徴や傾向を読み解ける児童が多い。 ◇文章題を解決する場面において、必要な数値を選び、その求め方と答えを説明できない児童が多い。 ◇二等辺三角形等の図形を、直角三角形を組み合わせた図形と捉えることに課題がある。 ◇除法の式と商の意味を理解できていない児童が多い。

(2) 児童質問紙による生活調査結果

①学習時間帯

* 本校児童のほとんどが1時間を超える学習時間を確保しており、全国の割合より高い。

②計画的な家庭学習

* 本校児童のほとんどが1時間を超える学習時間を確保しており、全国の割合より高い。

③ICT機器の学習への利用

* 1日あたり1時間以上ICT機器を勉強のために使っている割合が、本校児童は全国より高い。

④基本的な生活習慣

* 本校児童は、規則正しい生活が送れている。

⑤自尊感情

* 自尊感情の高い児童の割合は、全国の割合より高い。

⑥キャリア形成

* 将来の夢や目標を持てている児童の割合は、全国の割合よりやや高い。

⑦主体的・対話的で深い学びについて

* 主体的に学習しようとする児童、また、自分の考えをうまく伝えるように工夫して発表することに取り組めた児童、さらに、話し合う活動の中で自分の考えを深めたり広げたりすることができている児童が育っている。

2. 学力・学習状況調査結果の「課題」を解決するための方策

(1) 全体を通して

基礎的・基本的な内容の確実な定着と、思考力、表現力の育成を目指します。

- ①授業研究を中核とした校内研修の推進により、教職員の実践的な授業力の向上を図ります。
- ②境剛志小スタイルの授業づくりの実践に努め、より「質の高い学び」により、児童に「なぜ?」「なるほど!」「もっとやってみたい!!」という「疑問から気付き、わかる喜び」が実感でき、主体的に学ぶ意欲を引き出す授業展開を行います。
- ③教科担任制により、教師の専門性を生かした個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。
- ④いせさきG I G A A Lスクール構想を推進し、児童が思考・表現することのできる授業を実践するとともに、情報スキル・モラルの向上を図ります。
- ⑤市英語モジュールプログラムを活用し、コミュニケーション能力の育成を図るとともに多文化理解と楽しい英語の授業や環境作りに努め、小中9年の一貫した系統的な英語科学習を推進します。

(2) 国語

①書くことの指導の充実

- ・書く活動において、児童の興味関心に応じた題材を設定したり、目的や相手を明確にしたりすることで、児童が主体的に取り組めるように工夫します。
- ・学年に応じて字数制限やテーマなどの条件を与えて書く活動を授業の中に位置付けていきます。また、国語に限らず、他教科においても一定の条件のもとで書く活動を行っていきます。
- ・言葉と言葉や文と文の関係を考えながら、順接、逆説、並列など正しい接続語を使えるように指導していきます。

②語彙を豊かにする指導の工夫

- ・文脈に即して漢字、語句を習得することができるように、例文やフレーズで覚える学習を多く取り入れます。
- ・いろいろな文章や作品に触れさせるために、図書室利用の機会を多くしていきます。各学級において、読書活動や学校図書館での活動を工夫します。

③自分の考えを発表する活動の充実

- ・授業における話し合いや毎時間のめあてに対するふりかえりの中で、自分の考えをまとめてから発表する場面を設定します。
- ・友達と互いに意見を出し合って自分なりの考えをまとめる活動を取り入れます。

④短い時間で文章からあらすじをイメージできる力の育成

- ・初めて読んだ文章からでも、得られた情報を整理して、短時間で大まかなあらすじをつかんだり、登場人物の心情について想像したりする学習活動を行います。

(3) 算数

①基礎的な力をつける時間の確保

- ・基礎となる内容の定着のために、ていねいに指導できる時間を確保します。また、家庭学習の充実を図り、定着に向けた取り組みを進めます。

②わかる授業を目指した授業展開の工夫

- ・言葉や数・式と、図・表・グラフなどを関連づけて授業を進めていきます。
- ・発表の場面では、「～だから、～です。」の形式で答えさせるようにし、根拠を持って課題を説明することができる力を伸ばしていけるようにしていきます。
- ・授業終末におけるふりかえりの時間を大切にし、児童の理解度を測る評価問題などを適切に取り入れます。
- ・日常の事象や数学の事象から課題を見だし、児童が主体的に取り組める授業を展開するように心がけます。また、数学の時間に学習したことを、理科など他の教科や日常生活の中で活用していけるように声をかけていきます。

③図形の性質や構成要素を正しく捉え、理解できるような工夫

- ・具体物を用いた操作活動の時間を確保したり、I C T機器を活用して映像を見たりソフトを活用したりすることによって、図形に対するイメージを持つことや性質の理解を促すようにしていきます。